

來賓挨撈

皇太子殿下のおことば

2017年10月26日 開会式

国内外から多くの参加者を迎え、GEA国際会議2017が開催されることを、うれしく思います。

気候変動による影響は、既に世界各地で顕在化しつつあります。今後、世界の平均気温が更に上昇することで、水資源や食料生産、自然災害、生態系、人の健康などへの深刻な影響が懸念されます。例えば、我が国においても、大雨の降る日数が増加傾向にあり、将来的には大雨や短時間の豪雨の発生頻度が全国的に一層増加すると予想されています。また、昨年夏には、沖縄地方沿岸を含む広い海域において、夏季の高水温が主な原因と考えられる、大規模なサンゴの白化現象も発生しています。

2015年9月には、国連において2030年を見据えた持続可能な開発目標が採択されました。世界全体が、この新たな持続可能な開発目標に向けた取り組みを本格的に推進していくことが求められている状況において、私たち一人一人が、私たちの望む未来に向けて、どのように行動するかが問われています。

このような中で、「脱炭素社会実現に向けた新たな戦略の構築～持続可能な社会のための変革と行動～」をテーマとした本会議は、持続可能な開発に向けて、世界の叡智を結集する貴重な機会です。

この会議では、持続可能な開発目標、気候変動対策に関する国や企業の戦略、科学技術や金融の果たす役割などについて、様々な分野の専門家を迎え、議論が行われると聞いています。

この会議で、私たちと私たちの子孫、そして全ての生き物が、いつまでも地球環境の恵みを享受することができるような未来に向け、活発な議論が行われ、世界に向けて発信されることを期待しています。そして、持続可能な社会の構築に向け、具体的な取組が更に進むことを願い、私の挨拶といたします。

安倍晋三 内閣総理大臣

2017年10月26日 開会式

皇太子同妃両殿下の御臨席を賜り、11回目となるGEA国際会議が開催されるにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

昨年、パリ協定が発効いたしました。気候変動の影響が現実のものとなる中で、国際社会の危機感がかつてなく高まっています。経済と社会の持続可能な発展のため、今こそ全ての国による大胆な行動が求められています。

我が国は、パリ協定の下、2030年度の温室効果ガスの排出量を26%削減するという野心的な目標を掲げました。この5年間でエコカーは2倍以上、太陽光発電は5倍以上に増えるなど、目標の達成に向けて、今、我が国の経済社会は加速度的に変化を遂げています。

未来の水素社会に向けた動きも始まっています。本年3月、東京で、世界で初めて大容量の燃料電池を備えたバスが運行を始めました。来年春には全国で100か所の水素ステーションが整い、神戸では水素発電による世界初の電力供給が実施されます。日本はこれからも、世界に先駆けた革新的なイノベーションに果敢にチャレンジしてまいります。

そして、その成果を世界の国々とも広く共有する。我が国の優れた環境技術やインフラを官民が力を合わせて、途上国にも積極的に展開し、世界全体での温室効果ガスの排出削減と気候変動による悪影響の軽減に貢献してまいります。

気候変動との戦いは、2050年、それ以降へと続きます。今後、しっかりと未来を見据えて、長期戦略を策定し、我が国は世界に冠たる脱炭素社会の実現を目指してまいります。

積極的平和主義の旗を高く掲げ、世界の平和と繁栄に、これまで以上に貢献していく。我が国は気候変動、持続可能な開発など、世界が直面する様々な課題に強いリーダーシップを発揮し、国際社会と手を携えて立ち向かう決意であります。

美しい地球を次の世代に引き渡していくのは、今を生きる私たちの責任です。持続可能な社会づくりのため、環境・経済・社会の問題を同時並行で解決する大胆な変革が必要です。そのためには、世界の叡智を結集し、共に行動していかなければなりません。

そうした意味で、国内外の企業のリーダー、研究者、政府関係者が一堂に会し、気候変動問題への対応を議論する「地球環境行動会議」の役割は、ますます高まっています。

今回の会議において、世界が目指すべき将来の姿について、実りある活発な議論が行われることを大いに期待しています。

最後となりましたが、本日ご出席の皆様の益々のご活躍を祈念し、私からのご挨拶とさせていただきます。

ローレンス・トゥビアナ 前フランス気候変動交渉担当大使・COP21特別代表 欧州気候基金CEO

2017年10月27日 フェアウェルレセプション

ありがとうございます。乾杯のご挨拶と、海外からの出席者を代表してお話をさせていただき光栄です。とても示唆に富んだ内容の会議を催されたGEAの斎藤会長と実行委員の皆様にお祝いを申し上げます。

参加者の皆様を代表し、日本のイノベーションについて、文部科学大臣に対して祝意を述べさせていただきます。

また、鈴木大臣のお話をうかがい、オリンピック・パラリンピック大会がとても感動的なものになるのが目に見えます。

きっとパリも、できることならば東京に匹敵するような素晴らしい大会になるように真剣に取り組むことでしょう。

さらに、小池知事におかれましては、極めて大きな発展を目指されている東京都におけるリーダーシップと環境面でのリーダーシップの両方に、そして、まさしくC40（世界大都市気候先導グループ）におけるリーダーシップに対しまして特別なお祝いを申し上げます。

小池知事、どうもありがとうございました。とてもすてきな贈り物をいただきました。私にとって初めてのふろしき包みをいただいた小池知事に感謝いたします。

小池知事が推奨する、この環境にとっても優しいエコバッグを囲んで、このように大きなセレモニーを開きましょう。それでは、これまでに申し上げました様々なお祝いの気持ちを込めまして、皆さんと乾杯したいと思います。乾杯！